

# Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan  
TEL : 03-3714-0552 FAX: 03-3714-2571 E-mail: info@artphoto-site.com

報道各位

平成26年8月吉日

## トミオ・セイケ 写真展 「West Pier」 (ウエスト・ピア)

2014年 10月21日(火)～ 12月6日(土)  
(プレオープン 9月19日(金)～27日(土))  
1:00PM～6:00PM/ 休廊 日・月曜日 / 入場無料

### ブリッツ・ギャラリー

〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-20-29 TEL 03-3714-0552  
JR目黒駅からバス、目黒消防署下車徒歩3分 / 東急東横線学芸大学下車徒歩15分

ブリッツ・ギャラリーは、欧米のアート写真シーンで活躍中の写真家トミオ・セイケの写真展「West Pier(ウエスト・ピア)」を開催します。ウエスト・ピアは、英国イングランド南東部イースト・サセックス州にあるヴィクトリア朝の1866年に建築された観光目的の巨大な栈橋。イングリッシュ・ヘリテッジから指定建築物第1級に認定された貴重な歴史建造物でした。そこにはコンサートホールや各種の娯楽施設があり、長きにわたり人気観光名所として知られていました。しかし1975年に施設老朽化のために閉鎖され、その後は複雑に絡み合う利害関係に翻弄されて補修されることなく放置されていました。老朽化が進む中、2002年のハリケーンの影響で施設の一部が破壊。また度重なる原因不明の火災発生と悪天候により崩壊が進行し、いまや一部の鉄骨の骨組みを残すだけの存在になっています。

ブライトン在住のセイケにとって、この放置され続けていた巨大な文化遺産はずっと気になる存在でした。彼は、2005年～2009年にかけて、次第に朽ち果てていくウエスト・ピアを撮影。霧の中や降雪時など、様々な自然環境の中でたたずむ栈橋の姿を写しています。しかし、彼は決して栈橋の崩壊過程ドキュメントしたわけではありません。観光名所の栈橋は、様々な利権が絡み合っており、多くの人々の欲やエゴの象徴ともいえる存在でした。彼は自然の力により、この地でかつて大きな存在感を誇っていたウエスト・ピアが次第に朽ち果てていく過程に引き込まれていったのです。継続した写真撮影により、いやが上でも人間の生来の欲望の大きさと自然の力を意識させられます。彼はウエスト・ピア崩壊過程を通して、巨大な宇宙の中で生かされている人間の小さな存在を直感したのでしょうか。

本作では、セイケは1930年代に制作された折り畳み式蛇腹カメラのスーパーイコンタを使用しています。彼がトレードマークともいえるライカ・カメラで撮影しなかったのは、レンズ交換などにより撮影過程が複雑になるよりは、自然環境の中で厳かに存在する被写体とシンプルに対峙したいという意図があったからです。また悪天候で撮影環境が厳しい時には、デジタル・カメラのエプソンR-D1sでも撮影しています。本展ではゼラチン・シルバー・プリントで制作されたモノクロ作品約24点が展示されます。エプソンR-D1sで撮影された作品も、デジタルデータからゼラチン・シルバー・プリントが制作されています。

ぜひご高覧いただくとともに、貴媒体においてのご紹介をよろしくお願い申し上げます。

# Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan  
TEL : 03-3714-0552 FAX: 03-3714-2571 E-mail: info@artphoto-site.com

(...2/2)

## トミオ・セイケ・トーク・イベント開催

9月21日(日) 午後2時~(1時間程度を予定しています)

ゲスト 永嶋 勝美 氏 (写真家)

参加無料 完全予約制(参加希望者が多い場合は抽選となります)、申し込み受け付けは9月初旬を予定。  
約20名様程度を予定 (立ち見の場合があります)

### 永嶋 勝美 プロフィール

1953年東京都出身。デザイナー・アートディレクターを経て1980年写真家に転向、ファッション・静物を主とした  
広告写真を手掛ける。82年より海外を歩きまわり作品を撮り始め、89年よりパリを拠点に創作活動を開始する。  
現在は写真作家活動を主に、アートディレクター、テクニカルアドバイザーとしても活躍中。  
PSJ(社)日本写真協会正会員、APA(社)日本広告写真家協会正会員。個展多数開催、受賞歴多数

## トミオ・セイケ・プロフィール

トミオ・セイケは1943年東京生まれ。欧米の主要アート・ギャラリーのハミルトンズ(ロンドン)などと契約し写真  
展を定期的に世界中で開催している数少ない日本人作家です。

会社員を3年経験後、1970年に日本写真学園を卒業しています。アシスタントを経験後、1975年からフリーラン  
ス写真家、その後イギリスに渡り1987年以降は東京とブライトンに居を構えています。現在は写真展、写真集  
を通しての作家活動を中心に行っています。

1982~1987 年に取り組んだ「ZOE」シリーズで作家として注目されます。ロンドンのフォトグラファーズ・ギャラ  
リーで初公開されて以降、ハミルトンズ(ロンドン)、ウエストン・ギャラリー(カーメル)、ツァイト・フォトサロン(日本  
橋)、コウジ・オグラ・ギャラリー(名古屋)、ギャラリーf5.6(ミュンヘン)など世界中で個展が開催されています。

その後、「Paris」1992年、「Waterscapes」2003年、「Glynde Forge」2006年、を相次いで発表し作家の地位を確  
立させます。欧米写真の伝統を踏まえた上に日本文化のエッセンスも感じさせる優れた作家性、卓越した撮影  
テクニック、自らがプリントする高い完成度の銀塩写真で世界中のコレクターを魅了し続けています。またほと  
んどの作品がライカで撮影されていることからカメラファンからも熱烈な支持を得ています。

2011年秋にはデジタル作品による「Overlook」をハミルトンズ(ロンドン)で開催し、アート写真の新しい可能性に  
も挑戦しています。

作品は、ヒューストン美術館、サンタバーバラ美術館、ヨーロッパ写真美術館、フランス国立図書館、ラザール・  
ナショナルバンク、エルトン・ジョン・コレクション、エルメス財団パーマネントコレクション等に収蔵されています。  
以上

・お問い合わせ先 ブリッツ・ギャラリー <http://www.blitz-gallery.com> TEL 03-3714-0552  
写真展の情報・画像はウェブサイト [http://www.artphoto-site.com/inf\\_press.html](http://www.artphoto-site.com/inf_press.html) でご覧いただけます。